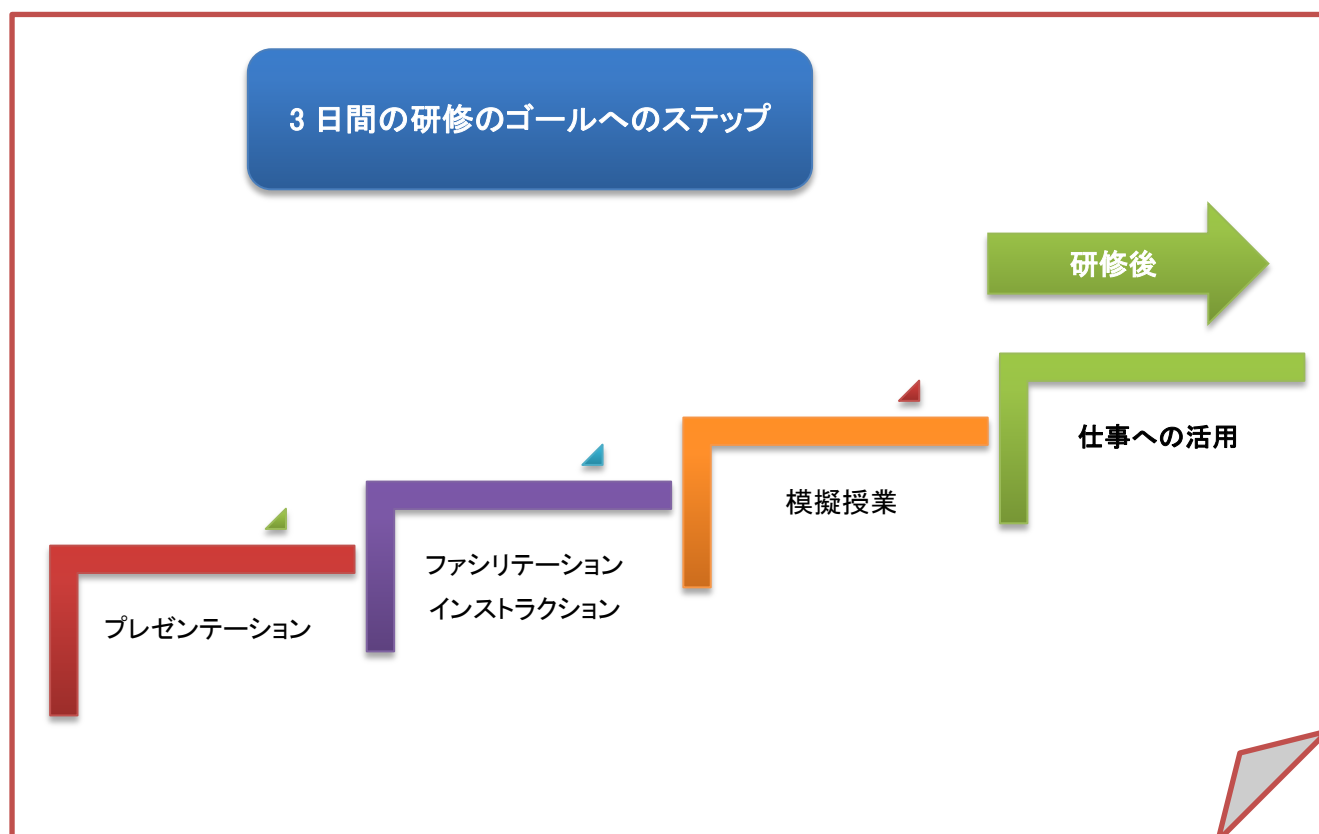
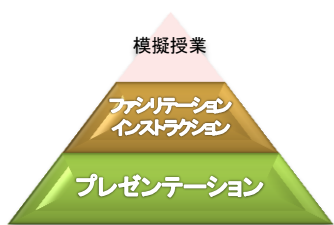



## MCT TTT レッスン設計書（研修の内容）

研 修 名	MCT TTT (Microsoft CERTIFIED Trainer Train The Trainer) * マイクロソフト社の認定トレーナーに必要なスキルを学び、修得する研修です
時 間 × 日 数	7 時間×3 日間（最低時間数） * 10：00～18：00 を基本的な時間としています
テ キ ス ト	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 MOT コミュニティ（現 BAL.com）、エイチ・アール・ディー研究所 共著
担 当 講 師	メイン講師 1 名～2 名 * BAL.com に所属し、MOT Expert や CTT+ を取得している講師です * BAL.com で定期的に行っている勉強会に参加し、より良い研修をめざして講師自身がスキルアップしています
研 修 の 目 的	MCT のスキルを仕事で活用しながらスキルアップしていくトレーナーになります * 該当するスキル基準は CTT+ の 12 のスキル評価基準（80%以上）に準拠
研 修 の 目 標	・ MCT に必要なスキルを身に付けることの大切さを理解できます ・ 実習で繰り返し演習し、模擬授業（ビデオ収録）に取り入れることができます * 該当するスキル基準は、CTT+ の 12 のスキル評価基準（80%以上）に準拠
評 価（ゴール）	前半 2 日間で学習した内容を盛り込んだ詳細プランを作成し、それをもとに 20 分間の模擬授業（ビデオ収録）ができたことで目標に達成したと判断します。



カリキュラム	
<b>1 日目の目標</b> ・研修の目的と目標を把握し、MCT（トレーナー）としての役割を理解します ・プレゼンテーションスキルを理解して演習で身に付けて、ビデオ撮影（5分）の準備を行います	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	・講師自己紹介、会場説明、全日程と1日目のタイムスケジュール など ・研修の目的と目標の確認
<b>講義と演習</b> 10:15-13:00  ※途中適宜休憩	☆序章と第1～2章を学び、トレーナーの役割とプレゼンテーションスキルについて理解を深めます  序章：テキストの使い方、用語など 第1章：トレーナーの役割（受講者自己紹介を含む） 第2章：プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る
昼食 13：00-14：00（60分）	
<b>講義と演習</b> 14:00-18:00  ※途中適宜休憩	☆第2～3章を学び、2日目の実演への準備を行います ・スキル評価基準のポイントを意識して関連付けながら理解を進めます  第2章：プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る ・実習しながら話すスキルを身に付けていきます ・演習でさまざまな事例を考えることでSFBを理解します  第3章：＜実践演習＞SFBによる説明と実演（準備まで） ・第2章で学んだ内容を5分間の模擬授業に組み立てます ※2日目への準備の説明を含みます
	
<b>2 日目の目標</b> ・1日目に学習したプレゼンテーションスキルをビデオ撮影（5分）で取り入れて行うことができます ・インストラクション・ファシリテーションスキルを理解して演習で身に付けていきます ・コース設計から詳細プランまでの研修の設計方法を理解して詳細プランを作成します	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	・研修の目的と目標の再確認 ・2日目のタイムスケジュール
<b>5 分間模擬授業</b> 10:15-11:20  ※休憩 10分	<b>【ポイント】</b> ・1日目に学んだプレゼンテーションスキルを意識して模擬授業を行います ・お互いにフィードバックして高め合います ・プレゼンテーションスキルに関する評価基準をもとに講師がレビューします  第3章：＜実践演習＞SFBによる説明と実演（ロールプレイ） ・ビデオ収録とフィードバック ・講師のレビュー
<b>講義と演習</b> 11:30-13:00  ※途中適宜休憩	☆第4～5章を学び、演習に盛り込めるように進めます ・スキル評価基準のポイントを意識して関連付けながら理解を進めます  第4章：インストラクション～興味を引き、“できる”をサポートする ・インストラクションスキルについて理解を深めます ・演習しながらインストラクションスキルを身に付けます  第5章：ファシリテーション～励ましとグループシナジーの活用 ・インストラクションとファシリテーションの違いを理解して、ファシリテーションスキルの重要性を理解します ・演習しながらファシリテーションスキルを身に付けます ※第5章は進行によって午後になる場合もあります

カリキュラム	
昼食 13:00-14:00 (60分)	
<b>講義と演習</b> 14:00-18:00  ※途中適宜休憩	☆第6～7章を学び、3日目の収録への準備を行います ・スキル評価基準のポイントを意識して関連付けながら理解を進めます  第6章：コースの設計 ・コース全体を組み立てていくときのポイントを理解します ・コース全体と模擬授業を行う箇所の流れを考えます  第7章：＜実践演習＞安心感の提供と”We can”サポート ・模擬授業を行う箇所のコース詳細プランを作成します  ＊3日目までの準備の説明を含みます
	
<b>3日目の目標</b> ・2日間の学習内容を取り入れた20分間の模擬授業ができるようになります ・模擬授業のレビューを自己・他受講者・講師で行い、良かった点と改善点を把握して次のステップに活かすことを意識できます ・実際に仕事をしていくときに活用していくメリットと大切さを理解します	
<b>オリエンテーション</b> 10:00-10:15	・研修の目的と目標の再確認 ・3日目のタイムスケジュール
<b>講義と演習</b> 10:15-11:00	☆第8章を学び、仕事のさいにやるべきことや注意すべき点を理解します  第8章：プロフェッショナル・トレーナーへの道 ・コース準備から開催までの流れ（第1章から7章までの振り返りを行います） ・コンプライアンス（時間によってポイントを絞って進めます）
<b>ビデオ収録</b> 11:00-17:30 ※途中適宜休憩 ※昼食（60分）	<b>【ポイント】</b> ・実際の仕事を意識して模擬授業を行います ・お互いにフィードバックして高め合います ・スキル評価基準をもとに講師がレビューします  第7章：模擬授業（ロールプレイ） ・ビデオ収録とフィードバック ・講師のレビュー
	
<b>まとめ</b> 17:30-18:00	<b>○研修全体のまとめ</b> ・3日間で学んだことを振り返り、実際の仕事に活かすために定着を図ります ・修了証に関するアナウンス ・アンケート

※ 受講者の人数や進み方によって時間配分は変更する可能性があります。